

# 令和 5 年度 事業概況報告

社会福祉法人 白鳥会

## I. はじめに

新年早々 能登半島を中心に地震災害により、また北陸地方は新幹線の敦賀までの延長に伴い、ストロ一効果により近畿圏より東京圏へ人口が移動し、地方がより逼塞する危機が増えることになるのではないかと考えます。

我々地元兵庫県は東京圏への転出人口が多く、特に姫路市は 10 年後には近畿地域の 257 市町村の中で東大阪市に次いで二番目に人口減少数が多いと見込まれており、JR 神戸線の神戸以西の都市人口が一都市を除いて赤穂に至るまで人口減になっており、消滅市町にもなると言われております。

大阪管内のテレビ放送番組「そこまで言って委員会 NP」で少子化による一番に人材不足する職種の予想として、介護士・自衛隊員・看護師 …… 保育士の順になっており、まさに我々の介護・保育界であり、今後そのような状況の中で求人確保していかなくてはならないと覚悟しております。

特に神戸に次いで人口の多い当該姫路市は介護士・保育士・看護師の養成・専門学校が少なく、年々の求人数に全然満たない就学生数であり、数年後の介護・保育・病院運営ができなくなる恐れが間地かに迫っております。

歴代政府が東京圏一極集中の政策を打ってきた結果ではないかと考えております。

さて、一年を通じて、職員の採用難になっており、我々も介護士・保育士採用にユーチューブに動画サイトを設け、リクルート活動を日々しておりますが、人材確保については大いに難儀しております。

政府は異次元の少子化対策を列挙し、国民に知らしめておりますが、その対策の具体化は進んでおりませんし、財源も借金であり、少子化は我が国経済・安全保障に多大な影響を与え、国力衰退の坂を駆け下ることになりますので、実施していただきたいと願うばかりであります。焼け石に水の例えのように望み薄になるのではないかと考えられます。

## II. 5 年度 事業概況報告について

令和 5 年度 3 月末日の 各保育園・分園・歳児別 利用児童数 調書 I							
保 育 園 名 (定員)	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
白鳥保育園 (120)	5	12	12	21	30	41	121
八幡分園 (60)	8	14	12	15	/	/	49
小計 (180) (3 歳未満児率)	13	26 (37.1%)	24	36	30	41	170
白鳥南保育園 (60)	4	6	6	21	17	17	71
下手野分園 (30)	4	7	10	/	/	/	21
小計 (90) (3 歳未満児率)	8	13 (40.2%)	16	21	17	17	92
青山保育園 (160)	11	15	27	36	42	54	185
市役所北分園 (45)	5	12	13	13	/	/	43
小計 (205) (3 歳未満児率)	16	27 (36.4%)	40	49	42	54	228
計 (475)	37	66	80	106	89	112	490
(3 歳未満児/ 以上児)	(37.3%)			(62.7%)			

調書1は、各保育園・分園の歳児別の利用児童数であるが、白鳥・白鳥南保育園及び各々分園の定員数に達していない現状に鑑み、地域社会との繋がりのなさを露呈しており、今後の少子化が加速する中で、利用児童の確保のための誘因すなわち渉外活動をしていく必要があり、活発化する必要があります。

特養ホーム「あおやま」は、世間では、介護士等の人材確保が至難と言われる中で、正規・非正規併せて要員が曲がりなりにも確保できていることは、運のいいことでありますが、一年間通して退職者が延べ人数28人にもなり、職員の補充に今年も追われ通しの一年間でありました。しかし、3月31日末現在、特養ホームの利用者は57名（70名定員）・短期利用者21名、ディサービス定員30名〔26名〕であります。

別紙調書Ⅱは、各保育園・特養に従事した職員の職種別内訳人数です。各保育所や特養には、最低基準及び配置基準が法令等によって定められ、遵守するのは当然であります。しかし、該調書のように保育所の正規・パート保育士等々の要員配置は、最低基準で認められております。特養あおやまについては、ある程度派遣人材に依存していることも人材難の現況では仕方がないことですか、安易に派遣人材に頼るだけでなく、直接雇用とのバランス及び当会との直接雇用移行へ促すことも肝要です。

労働集約型事業では、雇用に係る効率運営を施設ごとの部分最適ではなく全体最適を心掛けていく必要があると考えております。我々国民も年金暮らしに夢見るのではなく、健康である限り、日々働くことも大切であります。

5年度末の財務諸表については、当法人全体で、収入は、2.8%（昨年度936,272千円→本年度962,817千円）の増収で、支出は0.9%増（昨年度915,273千円→本年度924,109千円）になっており、各施設設備の借入金の元利返済合計額が60百万円となっております。

また、各種積立金合計額は、318百万円で、前年同期より10.4%増となっており、手持ち現預金も93百万円で昨年度と同額程度で推移しており、手持ちの現金・預金・積立金の計は、411百万円です。当期資金収支差額は15,257千円となっております。費用対効果で、今年度もディサービス事業に期待するところであったが、利用者の病気等により、利用控えもあり、一年を通じて目標に達していないが、施設介護福祉事業は収支差額が安定していることに安堵しております。

また、苦情処理委員会は、一年3回開催し、介護士等や保育関係職員の施設内外等の研修会は、各種の感染予防並びに介護・保育専門的サービス、感染症を含むリスク管理等の研修を行い、職員の習熟をはかっております。

### Ⅲ. 終わりに

我が国の行政機構は前例主義にとらわれ、政治は選挙のため、金品に走り、発想の転換がなかなかできないで国民・市民は大変迷惑しております。物価の値上がり対策の予算を出し惜しみすれば、国民からの支持も失われ、もちろん経済も長期に渡り、低迷し、社会保障の財源がなくなり、今よりももっと格差を生み、国民が迷惑すると思えます。

こうした難しい景気低迷と円安との情勢には、「思考の三原則」に立ち返えることが肝要だと思っております。

- 第一 目先に捉われず長い目で見ると
- 第二 一面的に見ないで多面的 全面的に観察すると
- 第三 枝葉末節にこだわることなく根本的に考察すると

## 特別養護老人ホーム あおやま 職員 職種別 調書 II

令和6年3月30日時点

特養	施設長	介護職員					看護職員・機能訓練		事務員	
		(正)	常勤的 非常勤	パート	特定 技能 実習生	派遣 職員	(正)	パート	(正)	パート
あおやま										
特養	1	32	7	6	3	0	4	3	3	2
ディサービス		3	0	1	0	1	1	1	0	0
居宅介護		0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	35	7	7	3	1	5	4	3	2

特養	生活 相談員	生活 相談員	ケアマネジ ャー	ケアマネジ ャー	管理 栄養士	調理員		宿直員	その 他	合計
	(正)	パート	(正)	パート	(正)	(正)	パート	パート	パート	
あおやま										
特養	1	0	1	0	1	3	4	6	4	81
ディサービス	1	1	0	0	0	0	0	0	2	11
居宅介護	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4
計	2	1	5	0	1	3	4	6	6	96